

オリンピック文化プログラムを活用した 文化施策推進体制整備



2017年1月27日

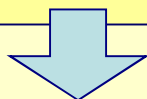
静岡県文化政策課

文化施策推進体制整備を巡る静岡県での経緯 ①

ふじのくに文化振興基本計画(2008～2017年)

【基本目標】 「みる」・「つくる」・「ささえる」人を育て、
感性豊かな地域社会の形成を目指す。

- ・み みる：文化振興の基盤・人づくり
- ・つ 作る：魅力ある文化の創造と発信
- ・さ さえる：文化を支える体制づくり



第1期(2008～2010)	アートマネージャーなどの充実、文化をつなぐネットワークづくり
第2期(2011～2013)	新たな文化活動支援の在り方検討
第3期(2014～2017)	静岡県版アーツカウンシル設置に向けた検討、文化力活用のプラットフォーム形成

文化施策推進体制整備を巡る静岡県での経緯 ②

【アーツカウンシル検討の背景として】

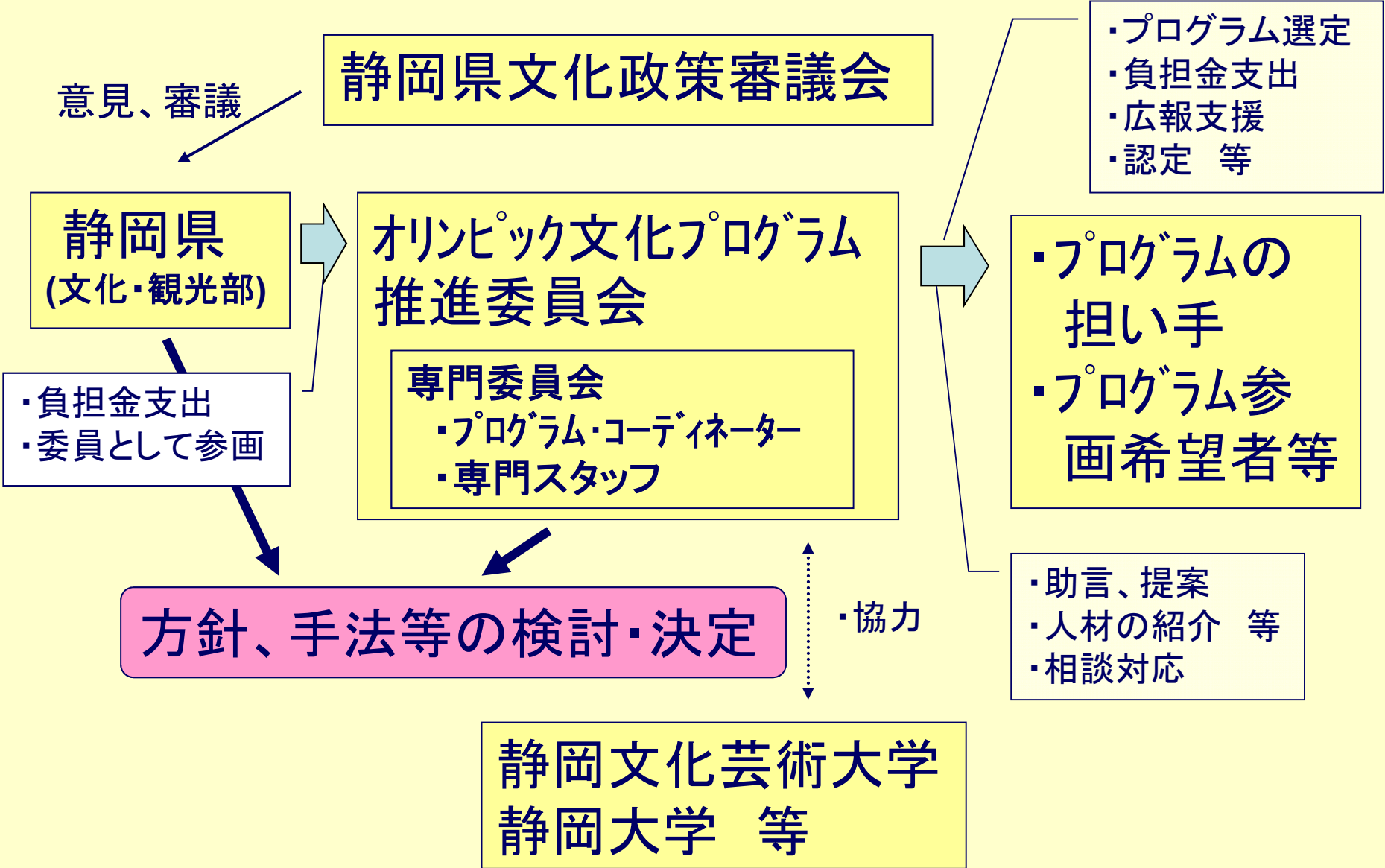
- ・専門的人材の不在(文化政策担当部局)
⇒ 事業内容・効果の的確な判断が困難
- ・文化振興財団機能の限界
⇒ 指定管理業務が主であり、文化振興機能が限定的
- ・経験の蓄積・継承が困難
⇒ 経験、調査等に基づく施策展開が困難

アーツカウンシル機能の構築には、具体的取組を通じた経験の蓄積が必要

オリンピック文化プログラムへの早期取組(2015年～)

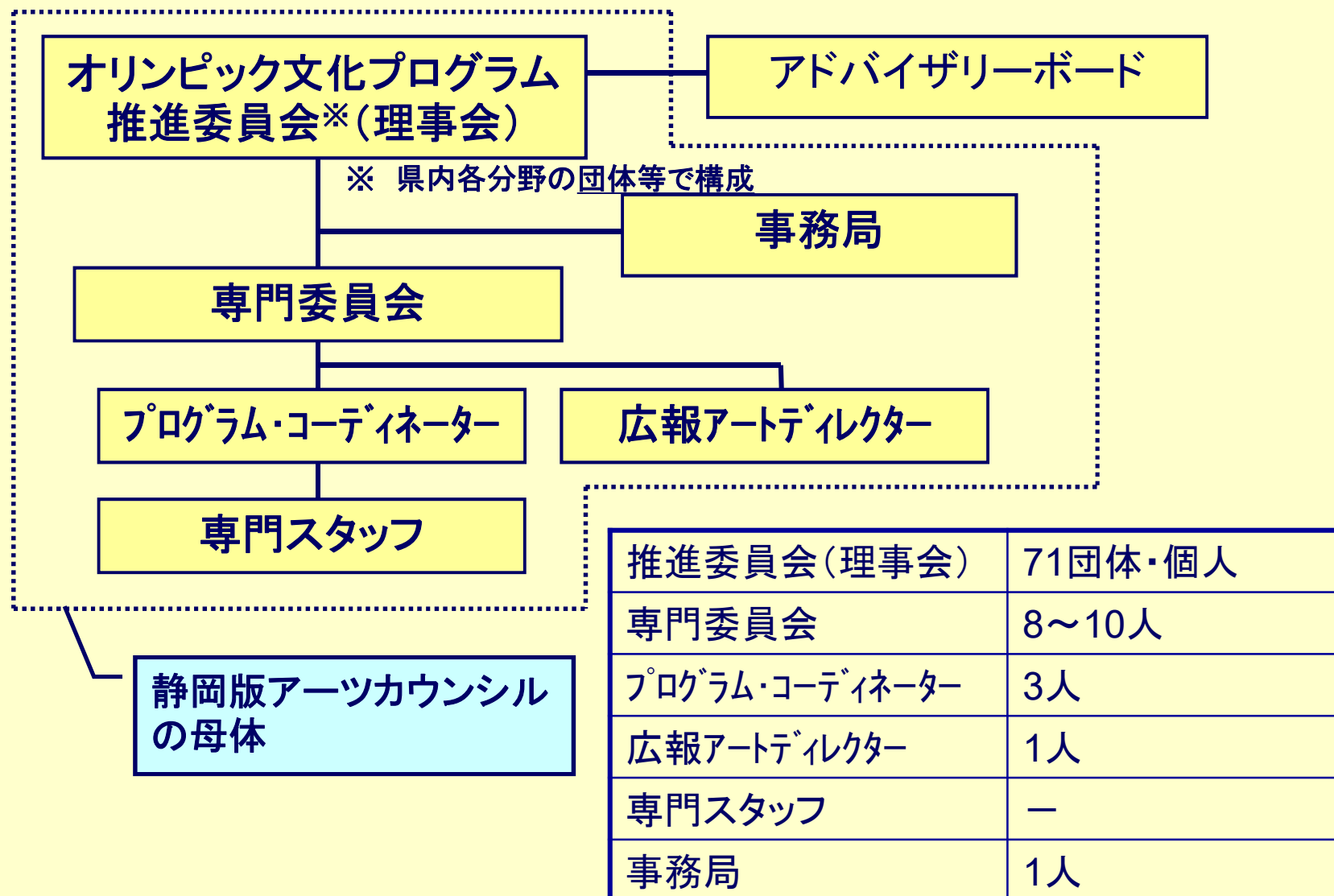
オリンピック文化プログラム推進事業にアーツカウンシル機能構築を組み込む

静岡県文化プログラム推進体制 ①



静岡県の文化プログラム推進体制 ②

平成28年度～文化庁「地域における文化施策推進体制構築促進事業」



プログラム・コーディネーター

- 公募による選考を経て、3人に委嘱
- 委嘱期間：平成28年6月～29年3月
- 役割：① モデルプログラムの担い手に対する助言、提案等
- ② 文化プログラム参画希望者からの相談対応、助言等
- ③ プログラム推進のための情報収集、調査
- ④ 支援活動に基づく報告、企画提案等

※平成29年度以降～増員、待遇改善、専門スタッフ(若手人材)の配置等を予定。

静岡県の文化プログラムー基本的な方針

【テーマ】

地域とアートが共鳴する

【目的】

- ・潜在的な文化資源、地域資源、人的資源などを見えるかたちに
- ・他者との違いに価値を見出し認め合う文化を育む
- ・創造性を基盤とする一人一人の生き方の多様性、可能性を示す
- ・文化・芸術を生かした地域的・社会的課題への対応

【重点】

- ・**多様性**：地域、社会、時代、国籍等における多様性を生かす
- ・**多極性**：大規模・集中的ではない、県内各地の文化資源を生かした多極的な展開
- ・**持続性**：一過性のイベントではない、2020年以降を視野に入れた持続的な展開

静岡県の文化プログラムーモデルプログラムの公募・実施

- 目的: ①基本方針の具体的例示
②本プログラム(仮称)に向けた経験の蓄積(担い手、推進委員会ともに)
- 実施時期: 28年9月～29年3月
- 内容: 文化・芸術分野 × 地域・社会的課題
応募80件の中から10件選定
1事業当たり平均3,000千円弱の負担金を推進委員会から支出
- 応募資格: 県内に拠点を置く団体、グループ

モデルプログラム一覧

1	ラジオにのせて、ふじのくに、ソーシャルインクルージョンへのひとしづく【熱海市】
2	古民家を芸術拠点とした地域づくり【松崎町】
3	パフォーミングアーツ公演を軸とした移動型実験的芸術プログラムの実践【函南町】
4	するがのくにの芸術祭 ふじのやまビエンナーレ2016【富士市、富士宮市、静岡市】
5	一きこりと子育てー「日本ーみんなで子どもを育てる村づくり」PROJECT【静岡市】
6	Toro Lab. Innovation Project【静岡市】
7	外国人向け「みんなのnedocoプロジェクト」実現に向けた基盤整備とモニターツアー【静岡市】
8	小さな山村から世界への発信【島田市】
9	「表現未満、」プロジェクト【浜松市】
10	浜松市根洗学園アートプログラム～何に気付き、どのように意味付けるのか、思い込みからの解放～【浜松市】

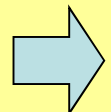
本プログラム(仮称:2017年度~)

基本的な考え方の一例(専門委員会での議論)

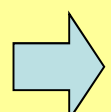
<p>期間による区分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期プログラムが基本(3年以上の事業計画と2020年以降のビジョンが必要) ・補完的に単年度プログラムを実施
<p>担い手による区分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体・グループ
	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体・グループ+公立文化施設、地方自治体等
<p>目的による区分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術による地域・社会課題への対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡らしい文化・芸術振興
	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成

文化プログラム推進委員会による調査研究等

- モデルプログラム支援、参画希望者への相談対応等を通じた地域文化資源、担い手等の状況把握

- 
- モデルプログラムの記録作成(⇒経験の継承)
 - 本プログラム(仮称)募集要件への反映
 - 文化・芸術分野と他分野の関連をテーマとするトーク・シリーズの企画・実施

- アーツカウンシル機能の在り方に関する検討

- 
- 機能、体制(組織)の在り方
 - 既存の文化振興組財団との関係
 - 「県」-「アーツカウンシル」の役割分担

想定される課題

- アーツカウンシル機能の必要性、効果の提示
(文化プログラムを通じてどこまで可能か)
⇒ 支持される存在となり得るか？
- 組織のあり方(既存の文化振興組織との関係、
県組織との役割分担等)
- 専門的機能の確保(人材、助成、中間支援)

課題への対応

静岡県文化政策の在り方の転換点となる
可能性